

# 社団法人日本新体操連盟

## 平成 20 年度第 2 回総会議事録

1. 会議名： 平成 20 年度第 2 回総会
2. 日時： 平成 21 年 3 月 24 日（火） 11 時 00 分～11 時 50 分
3. 場所： 東京都港区高輪 4-10-56 「日立金属高輪和彊館・大会議室」
4. 構成員現在数： 560 名
5. 出席会員数： 450 名（うち委任状出席者 420 名）  
以下出席会員  
A S K A ・ R G、イオン、ウーマンズ R G、  
ウーマンズ新体操クラブ、m. m R S G、  
エンジェル R. G クラブ、大宮ジュニア R G、ジャスコおゆみ野、ジ  
ヤスコ北習志野、ジャスコ行徳、ジャスコ新松戸、ジャスコ鈴鹿、ジ  
ヤスコ浜松、ジャスコ船橋、ジャスコマリンピア、  
ジャスコユーカリが丘、Shaleur R.G、S w e e t ピュア R. G、ス  
ポーツクラブ A Z、戸板 R. G、ねもと新体操クラブ、  
ピュア R. G、ふじしま新体操クラブ、F U S S A R ・ G、PLANET、  
PLANET R G、舞 K i d s R. P. G.、マリン、ゆうりボン、  
R i b b o n 新体操クラブ
6. 欠席会員数： 110 名
7. 出席役員： 二木 英徳（会 長）朝倉 正昭（副 会 長）荒井 隆（専務理事）  
石崎 朔子（常務理事）関田史保子（常務理事）渡辺 守成（常務理事）  
池田真喜子（理 事）岡 久留実（理 事）谷口 裕代（理 事）  
橋本 千波（理 事）藤島八重子（理 事）山崎 浩子（理 事）  
福本 隆（副 会 長）秋山エリカ（理 事）岩本 晃（理 事）  
崇島 慎一（理 事）谷原 誠（理 事）田中 元（監 事）  
横田 章（監 事）  
以上 19 名（うち委任状出席 7 名）
8. 欠席役員： 高橋 明（副 会 長）上村 郁代（理 事）  
以上 2 名
9. 議案：  
決議事項  
第 1 号議案 平成 21 年度事業計画について（定款第 5, 29, 38 条関連事項）  
第 2 号議案 平成 21 年度収支予算について（定款第 29, 38 条関連事項）  
第 3 号議案 平成 21・22 年度役員改選について（定款第 4 章関連事項）  
第 4 号議案 その他
10. 議事の経過及び結果  
(1) 議長による開会宣言  
（社）日本新体操連盟・定款第 28 条の定めにより議長を会長二木英徳が勤め、開会宣言  
を行った。  
(2) 議事録署名人の選出  
定款第 32 条により、議長は議事録署名人を朝倉正昭副会長と荒井隆専務理事にする事  
を議場に諮り承認された。  
(3) 定足数の確認  
定款第 30 条により総会出席者数委任状含めて 450 名であることが岡久留実理事より  
告げられ、議決定足数を満たしている事が報告された。  
(4) 議決事項  
第 1 号議案 平成 21 年度・事業計画について（定款第 5, 29, 38 条関連事項）  
議長は説明者として石崎朔子常務理事を指名し、石崎常務理事は下記内容の説明を行っ  
た。

1. 平成 21 年度年間事業計画について

今年 9 月に三重県で「世界新体操選手権」が開催されるため、毎年開催していた「イオンカップ」を開催せずに、「世界新体操選手権」をサポートしていく。  
その他スケジュールはほぼ例年通りを予定している。

2. 第 18 回全日本新体操クラブ選手権について

「第 18 回クラブ選手権」を 8 月 25 日から 27 日にかけて「東京体育館」にて開催する。2 部リーグの種目はロープ、フープ、ボールを採用する。1 部リーグへの進出資格となる種目の割当は、シニアがロープ、フープ。ジュニアがボールとする。

2008 年国際年齢基準が変更となったため、本大会の年齢区分も国際年齢基準に合わせてジュニアを 13 歳から 15 歳、シニアを 16 歳以上に変更する。

「イオンカップ」の出場権を毎年上位 3 チームが獲得していたが、平成 21 年度は「イオンカップ」を開催しないため、「第 18 回クラブ選手権」からの出場権の獲得はなしとする。「全日本選手権」へは年齢区分の変更に伴い、シニア上位 12 名が「全日本選手権」の出場権を獲得する。15 歳のジュニア選手については、シニア 12 位選手より高い得点を得たジュニア選手を「全日本選手権」へ推薦する。

その他、進行方法、競技方法は前回大会同様とする。

3. 第 9 回全日本新体操クラブ団体選手権について

「第 9 回団体選手権」を 9 月 20 日（日）と「東京体育館」にて開催する。開催方法は前回大会同様とする。ただし、前回大会より参加チーム数が増えた場合は競技日を 19 日（土）20 日（日）の 2 日間にする予定である。

4. 第 10 回日本新体操祭について

「第 10 回新体操祭」を 8 月 29 日に開催する。毎年「イオンカップ」と同時開催してきたが、今年「イオンカップ」を開催しないため、日本健康科学学会主催、東京都オリンピック招致委員会後援の「日本健康科学学会第 25 回学術大会」の中のイベントとして、「日本新体操祭」を開催する。

例年とは開催方法が異なるため、会場レイアウト、その他を大幅に変更する。参加チーム数を先着 60 チーム限定とする。会場レイアウト、その他詳細は後日追って連絡する。

5. 第 12 回全日本新体操チャイルド選手権

・第 9 回全日本新体操キッズコンテストについて

「第 12 回チャイルド選手権」「第 9 回キッズコンテスト」を 2010 年 2 月 26 日から 28 日にかけて「東京体育館」で開催する。開催方法は第 11 回大会同様とする。

ルールは変更する予定がある。新ルールについては 7 月末頃案内を予定している。

6. 平成 21 年度指導者育成セミナーについて

「審判セミナー」を各大会前に行い計 3 回、「指導者育成セミナー」を国内計 10 回、海外計 2 回を予定している。開催方法は平成 20 年度同様を予定している。

「指導者育成セミナー」では講師を元ソ連・ナショナルコーチのナタリア・クズミナさんをお願いしているが、クズミナさんが国際体操連盟の新体操技術副委員長に就任されたため、世界各地に行くことが多くなり、やむを得ず、セミナーを予定通り開催できないこともあることを了承いただきたい。

海外セミナーでは、旧ソ連の国々において、極端なインフレが起こっている。そのため、現地での宿泊費、渡航費が値上がりしている。なるべく参加者には迷惑をかけないように努めるが、現地の都合により、当初予定していたものより、値上げ、日程変更があることを了承いただきたい。

以上の説明の後、議長は質疑、報告等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第 1 号議案「平成 21 年度・事業計画」について承認された。

## 第2号議案 平成21年度・収支予算について（定款第29,38条関連事項）

議長は説明者として荒井隆専務理事を指名し、荒井専務理事は下記内容の説明を行った。

現在「公益法人制度改革」が進められており、財務諸表に変更が生じている。本連盟では平成21年度より新書式に対応した。収支予算書も「事業活動収支」「投資活動収支」「財務活動収支」と3区分に分けた新方式を採用している。対比に使用する昨年度の予算額は新方式に当てはめて記載している。説明は平成20年度予算と差異の大きいところを説明していく。

### 1. 日本新体操祭について

「日本新体操祭」は「第25回学術大会」の中のイベントとして開催する。例年のような「イオンカップ」と同時開催でないため、観客数の減少を見込み、前年度比100万円減の400万円を収入としている。

支出では、「イオンカップ」と共有できていた、人件費、備品等が単独で費用計上しなければならないため、前年度比180万円増の260万円を支出計上している。

### 2. 世界選手権について

本連盟では、今年三重県で開催される「世界新体操選手権」に協力をする。この「世界新体操選手権」が新体操を国内に広める良い機会ととらえ、テレビ放送が深夜もしくはBS放送となりそうな現況の放送枠を、全国の方々がより見やすい時間帯に放送できるように活動する。また、大会会場にスポンサー看板を掲示するよう活動し、大会実行委員会をサポートしていくことを予定している。その経費として1億円を計上している。

また、収入についても、昨今の経済状況を考慮しながらも努力し、1億1500万円をスポンサー収入として見込んでいる。

### 3. 選手強化合宿について

「選手強化合宿」は「上級指導者育成セミナー」についての計上であるが、講師のナタリア・クズミナさんが国際体操連盟・新体操技術副委員長に就任されたため、急ぎの日程変更、もしくはセミナー中止にしなければならないことが予想される。そのため、参加者の減少を見込み、前年度費55万円減の110万円を収入と見込んでいる。

### 4. DVD販売について

平成20年度の販売実績推定を出したところ、予算額を上回る収入見込みである。平成21年度においては販売実績にともない前年度比55万円増の255万円を計上している。

その他についてはほぼ例年通りの予算組みを行い、事業活動収入1億8152万円、支出1億8052万円、事業活動収支差額100万円、投資活動、財務活動を本連盟は行っていないため、0円計上、予備費100万円を計上し、当期収支差額0円、次期繰越収支差額0円を収支予算案としている。

以上の説明の後、議長は質疑、報告等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第2号議案「平成21年度・収支予算」について承認された。

### 第3号議案 平成21・22年度役員改選について

議長は説明者として荒井隆専務理事を指名し、荒井専務理事は下記内容の説明を行った。

定款18条により、本連盟の役員の任期は2年となっている。平成20年3月末をもって第3期役員の任期が終了することにより、平成21・22年度第4期役員の改選を行う。

本連盟は、「公益法人制度改革」に伴い新法人へ移行の準備を進めている。その移行に伴い定款、役員等変更が生じてくるため、移行に備え、今回の改選では第3期理事の継続を基本線に提案したい。

第3期役員の高橋明副会長が体調不良のため、横田章監事が公務の都合により退任の意向を表明している。第4期役員は第3期より高橋明氏、横田章氏の2名を除く19名のメンバーにて提案差し上げる。

理事	二木	英徳	イオン株式会社・名誉相談役
理事	朝倉	正昭	国士舘大学・教授
理事	石崎	朔子	日本女子体育大学・教授
理事	福本	隆	日本テレビ鳩友会・理事
理事	荒井	隆	元日立製作所健康保険組合連合本部・常務理事
理事	関田	史保子	東京女子体育大学・教授
理事	渡辺	守成	イオン株式会社イオン新体操クラブ・代表
理事	秋山	エリカ	東京女子体育大学・准教授
理事	池田	真喜子	社団法人日本新体操連盟・事務総長
理事	上村	郁代	折尾愛真学園高校・教諭
理事	岡	久留実	イオン株式会社イオン新体操クラブ・コーチ
理事	崇島	慎一	共同通信社・運動部記者
理事	谷口	裕代	コスモスR G・代表
理事	谷原	誠	みらい総合法律事務所・弁護士
理事	橋本	千波	P E G A S U S U・代表
理事	藤島	八重子	(有)エフ・パル代表取締役
理事	山崎	浩子	スポーツライター
監事	田中	元	田中税理士事務所・所長
監事	岩本	晃	株式会社博報堂アイ・スタジオ・代表取締役社長

以上の説明の後、議長は質疑、報告等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第3号議案「平成21・22年度・役員改選」について承認された。

### 第4号議案「その他」について

議長は議場にその他議案の提出を諮ったところ、下記の質疑が行われた。

#### 質疑・報告

ウーマンズ新体操クラブ・佐藤氏より、「バッジテスト」の進行状況についての質問があった。池田理事より、「バッジテスト」は後年に残るものであるため、確実なものを作成しなければならない。そのため、試行錯誤を重ねている段階である。但し、試行錯誤も終盤に来ており、今年度開催する見込みである。決まり次第案内すると説明があった。

ウーマンズ新体操クラブ・佐藤氏より「指導者資格認定」「審判員資格認定」の内容について説明を求める意見があった。池田理事より、「指導者資格認定」は予算計上がないように現在研究している段階である。「審判員資格認定」については、本連盟でも審判員の資格認定を希望者の受けやすい方法で開催していくことを検討している。石崎常務理事より補足として「審判員資格認定」は都道府県体操協会でも実施できることであり、それと同じことであることが説明された。

舞Kids R. P. G. 奥平氏より、本連盟が実施しているアンケートについて公開を望む意見があった。渡辺常務理事より、アンケートをまとめて公開したい旨の返答があった。

舞Kids R.P.G. 奥平氏より、大会で不審者を発見したので警備を強化してほしいと要望があった。渡辺常務理事より、「第11回チャイルド選手権」では不審者を確保するなど現状でも警備を行っているが、要望があるのであればさらに強化していきたいと返答があった。

議長は議場にその他議案の提出を諮ったが提出されなかった。

(5) 閉会宣言

議長は他に質問、意見がないのを確認し総会の終了を宣した。

この議事録が正確であることを証するため、議長ならびに議事録署名人は次に署名押印する。

平成 21 年 3 月 24 日

社団法人 日本新体操連盟 平成 20 年度第 2 回総会

議 長 二 木 英 徳

議事録署名人 朝 倉 正 昭

同 荒 井 隆